



このコーナーに掲載を希望しない方は、届出のときに申し出て下さい。

中山部 香乃 (小屋浦二丁目)  
 渡部 紫映 (植田三丁目)  
 中野可歩菜 (坂西一丁目)  
 青山航大朗 (坂東二丁目)

よろこび  
 おめでとございます  
 7月届出分 敬称略

◎香典返し寄附者  
 濱野多恵子 (平成ヶ浜二丁目)  
 金子美代子 (植田二丁目)

つぎの方々から、社会福祉事業資金としてご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。  
 (7月受領分・敬称略)

あたたかい心のともしび



かなしみ

おくやみ申し上げます  
 7月届出分 敬称略

奥 利枝 (103) (坂西一丁目)  
 奥 富枝 (100) (坂西二丁目)  
 奥村ユキエ (103) (横浜東二丁目)  
 折出ノブエ (97) (横浜中央三丁目)  
 柚木 卓二 (78) (横浜西一丁目)  
 金子 實藏 (100) (植田二丁目)

安芸消防署からのお知らせ

9月9日は「救急の日」

7月の火災件数 ~ 0件 (年間累計 0件)  
 救急件数 ~ 39件 (年間累計 308件)  
 その火事を防ぐあなたに 金メダル



◎問合せ 安芸消防署坂出張所 ☎ (885) 0100

9月の休日当番医

診療時間 9時~17時30分 休診時間 13時~14時

	坂町・熊野町	府中町	海田町	広島市安芸区
6日(日)	酒井医院(耳鼻咽喉科) ☎ (855) 2629	ちくいえクリニック(脳外科・内科) ☎ (286) 7788	片桐整形外科 ☎ (823) 9133	大木クリニック(内科) ☎ (823) 2236
13日(日)	河原クリニック ☎ (820) 1711	こさか内科 ☎ (281) 4482	秋本クリニック(外科・内科) ☎ (823) 7777	加藤内科胃腸科医院 ☎ (893) 1221
20日(日)	梶山医院(内科) ☎ (854) 2771	スガタ整形外科医院 ☎ (285) 6522	寺沢耳鼻咽喉科医院 ☎ (824) 1187	瀬野川病院(精神科) ☎ (892) 1055
21日(月)		永田内科医院 ☎ (285) 0808	高橋医院(内科・小児科) ☎ (823) 4602	だて子どもクリニック ☎ (888) 0018
22日(火)		瀬戸ハイム内科 ☎ (285) 0816	ちえ内科クリニック ☎ (847) 6500	たにクリニック(内科・胃腸科・外科・放射線科) ☎ (823) 2220
27日(日)	豊田内科医院 ☎ (885) 0280	鈴川内科クリニック ☎ (286) 0050	山野上内科クリニック ☎ (823) 7272	根石医院(内科) ☎ (823) 2037

受診を迷うときは、#8000こどもの救急電話相談(毎日、19時から翌朝8時まで)、#7119成人の救急電話相談(24時間365日)もご利用ください。

今月の納税

口座振替日 9月28日(月)

口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。

9月30日(水)

国民健康保険税.....第3期分  
 介護保険料(1号).....第6期分  
 後期高齢者保険料.....第3期分

坂町の人口と世帯

(8月1日現在)

男: 6,250人 (前月比+1)  
 女: 6,766人 (前月比+20)  
 計: 13,016人 (前月比+21)  
 世帯数: 5,832世帯 (前月比+16)

坂の民話 22 ゆうとう池

昔々、坂のあるところに、子ども九人を持った夫婦がおった。子どもの中で「ゆう」は大そう美男子で心もやさしく、妹の「とう」は、他に類を見ぬほどの美人じゃったそう。二人はきょうだいの中でも特に仲がよく、小さいころから何をしても、どこに行くにも一緒じゃった。

ところが、実の兄と妹でありながら、いつのまにやらお互いに愛し合うようになってしまったそうじゃ。当時、母の違う兄妹の結婚は許されておったそうじゃが、母を同じくする二人は許されるどころか、ひどい罰を与えられることになっておった。

二人は人目をさけて激しい恋を続けておったが人びとの噂にのぼり、二人の味方をしてくれる者は誰一人なかったそう。

ついに二人は捕らえられ、兄は遠くの島に流されてしまった。はなればなれになったけど、二人の恋は尽きるどころか、ますます燃え上がるばかり。とうは切ない思いを文に託し、ゆうは浜辺に出て、ただぼんやりと空を眺め、とうを思う毎日であった。そんなある日のこと、ゆうは厳しい監視の目をどう逃れてか、とうの所にもどって来たそうじゃ。とうは夢かとばかり泣いて喜び、二人は人目をしのいで山の中にひっそりと住んでおった。



ところが、ある時里人に見つかってしまい追手に迫られ逃げ場を失い、ゆうは池に投身、そのあとを追って、とうも投身自殺。

それを知った世間の人々が、ゆうとう池と呼ぶようになったそう。昭和62年発行『坂の民話』より

坂町史

第78回 コウベモグラ



「ウグロ」とは、何の動物を指すかご存じですか？坂町の方言で、モグラ(土竜)のことを「ウグロ」と呼びます。今月は、本町で確認されたコウベモグラの記事をご紹介します。

この写真は、平成18年12月に砥場遊歩道(標高約280m)で捕獲されたコウベモグラで、計測後現地に放逐しました。計測の結果は、全長129.5mm、体重85.9gでした。(余談ですが、ちょうど、今晚調理するのに買っておいた小振りのズッキーニ1本を測ってみるとだいたい同じ長さで重さでした。ちなみに8月31日は、831(やさい)、野菜の日です。)

一般に、モグラ類は、常に食べ続けなければ餓死し、その限界は2~3時間であるといわれていますが、このモグラは捕獲から放逐まで、なんと餌を受け付けなまま22時間20分の間生存しました。この風説は吟味しなおされる必要があると考えられます。

また、モグラは、畑の農作物を食害するとして、捕殺されることがありますが、100%動物食であり、野菜を食べているのは、モグラの坑道を利用して移動するネズミ類であると考えられます。

次に、モグラの分布についてですが、約10数年前までは、箱根を境として西日本にコウベモグラ、東にアズマモグラというおおまかな分布図が描かれていました。大陸と地続きになった氷河期に日本列島にやってきたアズマモグラが、間氷期に孤島となった日本列島に残ったと考えられます。また、最終氷期に再び地続きとなった東シナ海を渡って、より進化したコウベモグラが渡来し、圧迫されたアズマモグラは東に後退し、箱根の峠を挟んでモグラ合戦をしているといわれています。

近年西日本各地でも、アズマモグラの生息が知られるようになってきています。これまでのところ本町では、見つけれられてないですが、芸南地域に広く分布している可能性があり、さらに詳細な調査が期待されます。 [『自然編』より]

自然編は、美しい瀬戸内の海と山、身近に生息している動物や植物、海で群れをなす魚たち... こうした自然の姿を収録しています。ぜひ、一度お手にとって、人と動植物、はたまた人と自然の共生を実感していただければ幸いです。